

問題【国語】

次のうち、下線部が鼻濁音になるものを全て選びなさい。

- (1) めがね (2) ごはん
(3) りんご (4) ぐらぐら

豆知識 雑学コラム

「が」「か°」微妙な発音

英語の発音の場合、同じアルファベット（例：a「エイ」、「ア」など）でも何通りの発音がありマスターすることが難しいと感じてしまいますね。一方、日本語のひらがな、カタカナは文字ごとに発音の仕方が1通りしかない「表音文字」であるため、音と文字のつながりが分かりやすいと感じます。実際にひらがなの発音で例外というと「は」を「ha」、「wa」の2通り、「へ」を「he」と「e」の2通りで発音するぐらいしか思いつかないかもしれません。しかし、実は「が・ぎ・ぐ・げ・ご」にも普段、あまり意識していない鼻濁音という発音があります。今日は鼻濁音についてみていきましょう。

鼻濁音とは息を鼻から抜くような感じで発音する「がぎぐげご」のことを言います。イメージとしては音の前に小さく「ん」をつけて、「んが、んぎ、んぐ、んげ、んご」と発音するような感じです。普段は「が」と書きますが、発音のきまりを扱う本では鼻濁音の「が」のことを、半濁点をつけて「か°」と表記されることもあります。この鼻濁音は、標準語の発音の助詞の「が」や、単語の中の「がぎぐげご」などで使われる発音の決まりです。標準語をはじめ、東日本の年配の方はよく「が」と「か°」の区別をしていますが、岐阜を含めた西日本や若者は区別せずに「が」と発音するため、鼻濁音なんて聞いたことも使ったこともないという人も多いと思います。テレビ局のアナウンサーは標準語の発音で原稿を読むことを求められるため、実際にテレビ番組に出る前に鼻濁音の猛特訓をするそうです。ニュース番組を見るときにそうしたことを意識して聞くと「が」と「か°」の違いに気づけると思います。

さて、この鼻濁音は、普通の「がぎぐげご」に比べると、言葉遣いが柔らかい印象を与える発音です。会話のときなどに少し意識して鼻濁音で「私が°…」と話してみましょ。相手に今までと少し違った印象を与えられるかもしれませんよ。

【解答】

〈(4)は擬音のため鼻濁音にはなりません〉

(3)、(1)